

11. 21院内集会「気候危機を直視し、日本政府はすぐ行動を！」

～クライメート・リアリティ・プロジェクト「24時間リアリティ」行動デー～

*11月20日-21日は、気候危機に関するプレゼンテーションが世界各地でアクションが行われます



COP25直前、日本初のクライメート・リアリティ・プロジェクト東京リーダーシッププログラムに登壇したパネリスト及び参加したメンバーを中心に、日本政府へ行動強化を求めます。

- ◎ 2020年までに日本のCO2排出削減目標を強化し、国連へ再提出してください
- ◎ 石炭火力発電所の新設・建設計画を見直し、2030年全廃目標を策定してください
- ◎ 脱炭素社会にむけて再生可能エネルギー100%を推進する経済再生策をすすめてください
- ◎ 気候変動適応法について実効性ある省庁横断の組織体をつくり、災害軽減策を実行してください

クライメート・リアリティ・プロジェクト(The Climate Reality Project)について

アル・ゴア米国元副大統領が立ち上げたプロジェクト。気候変動がもたらす危機に対し世界各地でリーダーシップトレーニングを実施。10月2-3日、日本初の東京開催は約800名が参加、世界14カ国44カ所目となった。トレーニング修了者は世界150カ国以上で約2万人のネットワークとなっている。

2019年11月21日(木) 13:00～15:00

会場 衆議院第一議員会館 1階 国際会議室

主催 クライメート・リアリティ・プロジェクト・リーダー有志

共催 気候ネットワーク、環境エネルギー政策研究所、全国ご当地エネルギー協会、他

プログラム

【映像プレゼン】「気候危機とは何か」 Climate Reality Project Trainingスライド(10分)

亀山康子氏 (国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム研究副センター長)
ー世界の気候危機と米国のパリ協定離脱の本質

明日香壽川氏 (東北大学教授・認定NPO法人環境エネルギー政策研究所理事)
ーエネルギー戦略転換と日本版グリーン・ニューディールの提案

平田仁子氏 (NPO法人気候ネットワーク 国際ディレクター)
ーCOP25と日本の気候変動対策の遅れについて

西山裕也氏 (GR japan株式会社 公共政策アドバイザー・マネージャー)
ー脱炭素社会にむけたイノベーションと規制改革について

原正樹氏 (湘南電力株式会社代表取締役 / 台風被災地 小田原市(SDGs未来都市)より)
ー再生可能エネルギーで災害に強い自立した地域をつくる

(省庁より) 環境省、外務省、経産省

*総合司会 **榎淵万里** (一般社団法人全国ご当地エネルギー協会事務局長)

- <参加対象> 超党派の国会議員、メディア関係者、一般市民 【参加費無料】
- <申込方法> ご氏名と連絡先をご記入の上、メールかFAXにてお申込みください。
- <入館方法> 衆議院議員会館の入館証は、ロビーにて12:40分から配布します。

問合せ・ご連絡先: 一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会 担当: 榎淵(くしぶち)

TEL: 03-3355-2212 FAX: 03-3355-2205 MAIL: kushibuchi@communitypower.jp